（大正十年四月二十二日第三種郵便物認可）　昭和四年十一月十四日　磐城新聞　（木曜日）　第二千六百八十四號　（一）

潮聲

（十月句會）

第一互選

一、秋時雨

玄武洞崩れしまゝ秋時雨　述琉
秋時雨赤子いたけば乳くさき　同
みちのくの野菊に秋の時雨かな　何鳴
閻栗の深き苞や秋時雨　同
はせ紅葉底光りして秋時雨　羊臺
薪負ふて市に行く日や秋時雨　中納言
秋時雨穂草の多きにならねたり　松堂
ときどきは椎の實ほとり秋時雨　同
岩芝のしみ〳〵青し秋時雨　萬袋
つれなくも馬上の人や秋時雨　晩霞
桐の葉のそゝしくなりて秋時雨　同
石に鳴く虫一つあり秋時雨　二葉
桐の葉に片割月や秋時雨　同
原中を行く一灯や秋時雨　同
點々と灯す島や秋時雨　天仙
心遣りに伽羅たく人かな秋時雨　一夢
秋時雨連山痩せて鳥啼く　守穂
鈴生の梢に秋の時雨かな　文狂
信濃路や秋を早める夕時雨　同
日曜も早や暮れにけり秋時雨　孤舟
向山半ば曇つて秋時雨　閑月
巡禮の親子なりけり秋時雨　瀧堂

二、刈田

風落ちて夕日の寒き刈田かな　述琉
夕鳥刈田を低く鳴き去れり　同
草にとぶいなご乏しき刈田かな　吉
落つる日に山の影濃き刈田かな　何鳴
霞網張りしばかりの刈田かな　同
畦豆の青きもありて刈田かな　松堂
夕月や刈田に案山子踏まれ居り　同
稻束刈田の中を近道す　羊臺
刈田只渺にとある月夜かな　二葉
演習や砲車かり田を踏み荒す　晩霞
雁の列かり田の果てを南行す　同
馭々とかり田をまさる烏かな　一夢
人去りて廣うなりたるかり田かな　同
子供等のかり田に戰習ひけり　同
野鼠の犬に追はるゝかり田かな　文狂
公孫濟んだ月靜かなるかり田かな　同
屋ひしてかり急ぐ田や祭り前　同
物の怪の霜に跡あるかり田かな　守穂
かり跡に鳴のそり居る水田かな　同
大利根を中にはさんでかり田かな　閑月
子いたちのかり田々みこち夕かな　江亭

三、末枯

末枯野遮ともものはちぎれ雲　松堂
末枯や實をつらねたるものゝ蔓　何鳴
末枯て垣にあらはの南瓜かな　羊臺
一叢の葎さびしく末枯る　同
末枯の一路たどれば小驛かな　同
末枯を横切つて行く電車かな　晩霞
末枯や生簀噌の壺を垣一重　同
草庵や末枯れ初めし庭の梅　萬袋
山々一毎尖一末かるゝ　同

「君はどう思ふね、江馬かれほどまでに決心して自分の意中を打明け而して彼には堅い夫れ相當な覺悟があるらしいがどうしたもんだねね、運命は江馬とゝさんをどのやうにするだらう——再び結びつけるかそれとも永久に斯うしてのまゝ引離してしまふか——さう言つて紙卷の吸ひ差しを脊々と伸びた麥畑に投げ込んだのはシルクハットの高山であつた

「それは僕にも全く解らない」と村越は答へた

「恐らく彼等は戀を新たするには餘りに悲しみに疲れてしまつて居るかも知れないだけだ。弱き者よ。汝の名は女か……」

「だが、和子さんや岡田家の女の犧牲の爲に樂な身の上になつて居る事であつた、然し、彼の女は今佐柄家のものとして殘つて居る樂な暮しをつゞけて行けるだか見當もつかなくなつた。然し、彼の女は今佐柄家のものとして殘つて居るだけだ。弱き者よ。汝の名は女か……」

「だが、和子さんや岡田家の女の犧牲の爲に樂な身の上になつて居る事であつた、然し、彼の女は今佐柄家のものとして殘つて居るだけだ。弱き者よ。汝の名は女か……」

「君はどう思ふね、江馬かれほどまでに決心して自分の意中を打明け而して彼には堅い夫れ相當な覺悟があるらしいがどうしたもんだねね、運命は江馬とゝさんをどのやうにするだらう——再び結びつけるかそれとも永久に斯うしてのまゝ引離してしまふか——さう言つて紙卷の吸ひ差しを脊々と伸びた麥畑に投げ込んだのはシルクハットの高山であつた

「それは僕にも全く解らない」と村越は答へた

「恐らく彼等は戀を新たするには餘りに悲しみに疲れてしまつて居るかも知れない」

「君もか〳〵——隅に置けない觀察をするね」と高山が言つたのであつた。

「ほんとうに彼等は悲しみに弱り過ぎて居る江馬には身輕者になつて見たいね」と村越は笑つた、二人はもう場末の電車の停留所へ來て居た

× × ×

不幸なのはき子であつた。彼の女が愛を塗に持つ事が出來なかつた良人の間に獄中で卒中で死ぬ少し前さしも豪者を極めた成金の一家は經濟界の變動と主人の失脚と言ふ二つの打撃のためにたう〳〵家資分産の悲運を見て、彼女はほんの身についた物と一緒に父の家にもどる事になつた。

けれども彼女にとつて一層不幸な事には間から離緣する暇もなく相手に死なれてしまつたので何時までも間未亡人と言ふ呪はれた名を保つて行く外はないので

死を超ゆる者

（136）

三上於菟吉作

布施平八郎畫

開院式（四）

「僕はまだ若い。僕は全々心の誘惑に打ち克つ事が出來るかどうか危ぶまれる。君達も僕の友人なり女性にばかり同情しないで僕の心も知つて與給へ、せめて一年も輕てば、そのうちには——」

二人の友達も押てゝは言はなかつた。話はそれきりになつた。二人の友達は春の夕陽の野道を市内電車の終點へ急ぎながら語り合つあるが、片一方にはたゞ過去の戀の燃え殻が殘つて居るだけだ。

「君もか〳〵——隅に置けない觀察をするね」と高山が言つたのであつた。

「ほんとうに彼等は悲しみに弱り過ぎて居る江馬には身輕者になつて見たいね」と村越は笑つた、二人はもう場末の電車の停留所へ來て居た

× × ×

不幸なのはき子であつた。彼の女が愛を塗に持つ事が出來なかつた良人の間に獄中で卒中で死ぬ少し前さしも豪者を極めた成金の一家は經濟界の變動と主人の失脚と言ふ二つの打撃のためにたう〳〵家資分産の悲運を見て、彼女はほんの身についた物と一緒に父の家にもどる事になつた。

けれども彼女にとつて一層不幸な事には間から離緣する暇もなく相手に死なれてしまつたので何時までも間未亡人と言ふ呪はれた名を保つて行く外はないので

休刊　入會第一、第三日曜
定價　壹ヶ月二錢、郵稅十錢
廣告料　一行半錢　特定廣告
發行兼編輯印刷人　遠沼龍輔
發行所　磐城新聞社
福島縣平町田町拾六番地
電話大四番

（十三日夕刊）

明治座
吉國
十一月　春
十月　秋
曆四日　曆四日

▲一白の人　一たん下りたる運氣も引立てを受け向上すべし▲二黒の人　意外の恩惠に浴せらるゝ吉日たり▲三碧の人　ゆい〳〵先にまよひの雲のかゝりて晴れやらぬ日▲四綠の人　昨日の味方の今日の敵となりやすき凶日たり▲五黄の人　心をそろへて根氣よく礦げば大吉日となるべし▲六白の人　樂々とのびゆく日たり名弘め開店何れも吉▲七赤の人　內輪もめの生じやすく金談にも故障生じやすし▲八白の人　一日再びあしたなり難し勇をこして奮闘すべし▲九紫の人　あせり氣のみ生じて落ちつきを欠く注意日たり

小說

死を超ゆる者

（136）

三上於菟吉作

布施平八郎畫

開院式（四）

「僕はまだ若い。僕は全々心の誘惑に打ち克つ事が出來るかどうか危ぶまれる。君達も僕の友人なり女性にばかり同情しないで僕の心も知つて與給へ、せめて一年も輕てば、そのうちには——」

二人の友達も押てゝは言はなかつた。話はそれきりになつた。二人の友達は春の夕陽の野道を市内電車の終點へ急ぎながら語り合つあるが、片一方にはたゞ過去の戀の燃え殻が殘つて居るだけだ。

「君もか〳〵——隅に置けない觀察をするね」と高山が言つたのであつた。

「ほんとうに彼等は悲しみに弱り過ぎて居る江馬には身輕者になつて見たいね」と村越は笑つた、二人はもう場末の電車の停留所へ來て居た

× × ×

不幸なのはき子であつた。彼の女が愛を塗に持つ事が出來なかつた良人の間に獄中で卒中で死ぬ少し前さしも豪者を極めた成金の一家は經濟界の變動と主人の失脚と言ふ二つの打撃のためにたう〳〵家資分産の悲運を見て、彼女はほんの身についた物と一緒に父の家にもどる事になつた。

けれども彼女にとつて一層不幸な事には間から離緣する暇もなく相手に死なれてしまつたので何時までも間未亡人と言ふ呪はれた名を保つて行く外はないので

内科、小兒科（院長毎日診療）
院長　醫學博士　難波陸
內科部長　醫學博士　中西林藏
外科專門
外部長科　醫學士　氏家憲介
每日曜手術　醫學博士　桂重次
產婦人科、女子泌尿科
產婦人科部長　醫學博士　松枝茂
耳鼻咽喉科
部長　醫學士　井上俊次郎
每日曜手術　醫學博士　渡部貞助
×光線、科物理學的診療科
主任　醫學博士　難波陸
技師　工藤慶造
衛生試驗所　醫學博士　中西林藏
衛生試驗所技師　小熊英夫
藥局長　吉本孝平
本院醫事法學士　岡審
法制囑託　賀澤忠治
本院主管

一衛生試驗所（共濟病院內）
一病氣相談所（共濟病院內）
一救療（共濟病院內）
◎救療を申込るゝ方は當相談所へ御話し下さい

看護婦見習募集　磐城　共濟病院　平町電話六四一番

清釀造元　世界吉　清水屋
石城小名濱町
銘酒
各炭礦御用達　小野晋平
電話六番

外科一般（入院隨意）
內臟外科專門
花柳病科
平町六丁目（橋際）
木村外科醫院
電話三〇九

貸切自動車の御用命は
昭和タクシーへ
高級車で乘心地の好い
昭和タクシー
平驛前
電話は　三四三番

平町田町
高久病院
電話五一三番
醫學士　高久忠
耳鼻咽喉科專門醫學士　赤羽濟
藥劑士　佐竹菊雄
內科小兒科、
外科花柳病科、
耳鼻咽喉科、
レントゲン科、

石炭ノ特賣
當店小賣部開設三週年紀念トシテ特賣致シマス
磐城炭礦一等塊炭
正味　十貫目　金六十錢
炭價ハ日ニ日ニ向上致シマスガ今回特ニ金六十五錢ノ品ヲ金六十錢ニ値下致ス次第デス
◎日方ノ正確
◎品質ノ優良
電話二二三七番
ハ當店ノ特色デス
配達ハ一俵ヨリ致シマス
平停車場前
阿部石炭商店

耳、鼻、咽喉科
合津醫院
平町仲田町七一（電話五五九）

平町田町
特約店　廣瀨支店
電話五四番

生花教授
池ノ坊流　生花を懇切叮寧に御教授いたします、お遊びがてら御出で下さい。
平町十五丁目通り
須藤なつの

入院隨意（自炊の便あり）
X光線科
外科專門
平南町
上田外科醫院
電話一二九

【第三種郵便物認可】　昭和四年十一月十四日　磐城新聞　（木曜日）　第二千六百八十四號　（二）

野崎派が大擧上京して 比佐會長に採決を迫る

七支會の大勢は若松氏有利 民政派の騒動深刻化

若松、野崎兩氏の縣參椅子爭奪問題は例の長老會に引きつゞき草野三郎、小松春治氏の辭明書となり更らに小松春治氏が單獨辭明書なる怪文書が發しられてから石城民政黨は俄ら鼎の湧き返へる如き爭擾の渦を捲き起し殆むど底止する處なき紛亂の醜狀を暴露するに至つたが而して昨報の如く郡内七支會の大勢は若松氏派が優勢にして若し長老會の決議を以て石城民政黨員の總意なりとし野崎氏を縣參にする如きあらば黨として由々しき事態を誘發する恨れあり此の點は縣支部に於ても充分考慮の内に入れ未だ以れとも決し兼ねる

磐銀の開業案は 異論なく承認

あす最後の決定を與る

町村公金委員會

石城郡町村長會總會は十四日午前十時から町訓育院に開催さきの評議員會で既に委員會が承認したる以上格別の議論もなく既定開業案を承認することになるなほ湯本町會が委員會を無視し暗打的に破産申請を議決したのに對し八方から非難の聲か起り手續きをちうちよしてゐたが結局委員會に追從する模様である

四倉署に 賽錢の賊

犯行二件自白

十一日午前六時頃四倉署の柴田巡査が四ツ倉驛構内に於て擧動不審の土工風の男を發見取調べるに此奴は東白河郡近津村大字川槻生れ住所不定乞食渡邊逵太郎（六二）と稱する者で更に同日午後六時半町南町飲食店花月に登樓し一圓二十五錢の無錢飲食をなし二階から放尿をする泥醉漢を引致取調べると右は埼玉縣兒玉郡旭村生れ荒井勘茂（六六）と云ふ乞食と判明何れも一夜檢束の上放還した

四倉の漁高

秋刀魚三萬餘圓

四つ倉漁業組合の調査による秋刀魚並に鰯の十月迄の漁獲高は秋刀魚船一三隻にて三萬三千七百七十五圓七十六錢にしてこれを一隻

特高課が總動員で 不穩分子を檢擧

當員名簿を發見したか

平署異狀の緊張

石城地方の炭礦或ひは山間並に部方面に最近無産者新聞或ひは不穩文書がさかんに撒布されてゐるのを平署員が探知直ちに大活動を開始した結果石城郡飯野村白土居住の加澤榮典を關係者として逮捕更に同人宅を嚴重捜査して當記不穩文書無産者新聞等を多數押收したが平署では既報したが平署特高課では十二日朝から特高室の扉を固く閉ぢ留置中前記加澤より更に意外の方面に關係者を有する大立物大井川に渡つてゐるとの取調べの結果によつて容易に得ざるは素より暗かの擧に屬し到底此の儘で治まるものとも思はれざる理由あり結局は暗嘩兩成敗に終る外なかるべきも若松、野崎兩氏の此の反感脫線は石城民政黨將來の癌疾となり近くは必らず劃然と分裂を見るる恨れあり此の點は縣支部外あるまいと觀測されてゐる

平署では毎年十一月から年末頃にかけて寒くなると從來北國にゐた浮浪人や乞食の二萬五千九百三十四圓營波末吉氏の二萬四千五百二松氏の面目を踏み潰す如き態度に出て

無錢で飲食した上 二階から小便

呆れ果てた乞食二人

平署に一夜檢束

平署では毎年十一月から年末頃にかけて寒くなると從來北國にゐた浮浪人や乞食の二萬五千九百三十四圓營波末吉氏の二萬四千五百二

特高課が總動員で 不穩分子を檢擧

當員名簿を發見したか

平署異狀の緊張

石城地方の炭礦或ひは山間並に部方面に最近無産者新聞或ひは不穩文書がさかんに撒布されてゐるのを平署員が探知直ちに大活動を開始した結果石城郡飯野村白土居住の加澤榮典を關係者として逮捕更に同人宅を嚴重捜査して當記不穩文書無産者新聞等を多數押收したが平署では既報したが平署特高課では十二日朝から特高室の扉を固く閉ぢ留置中前記加澤より更に意外の方面に關係者を有する大立物大井川に渡つてゐるとの取調べの結果によつて容易に得ざるは素より暗かの擧に屬し到底此の儘で治まるものとも思はれざる理由あり結局は暗嘩兩成敗に終る外なかるべきも若松、野崎兩氏の此の反感脫線は石城民政黨將來の癌疾となり近くは必らず劃然と分裂を見るる恨れあり此の點は縣支部外あるまいと觀測されてゐる

無錢で飲食した上 二階から小便

呆れ果てた乞食二人

平署に一夜檢束

平署では毎年十一月から年均とすれば二千六百圓餘と末頃にかけて寒くなると從なり鰯の漁獲は鈴木賢次氏の二萬五千九百三十四圓營を整え一般顧客の好評を博してゐるが今回米國製の電氣バリカンを購入し實地に使用を開始したが該電氣バリカンによるときは時間の迅速と仕上りの優秀な點に於て從來のバリカンと其の撰を異にし素より料金普通で顧客の賞讃を博してゐる

平町兵士送別

平町では來る十七日午前十一時より縣社子鍬倉神社で本年度入營送別會を開くと

平町會

十五日に召集

平町では來る十五日午後一時から町會を招集丹後澤拂下げによる追加豫算三百五十餘圓の件並に町有土地一部處分の件を附議する筈

石崎理髮店の 電氣バリカン

顧客の好評を博す

平町田町大床石崎理髮店では常に進歩的機械と諸設備を整え一般顧客の好評を博してゐるが今回米國製の電氣バリカンを購入し實地に使用を開始したが該電氣バリカンによるときは時間の迅速と仕上りの優秀な點に於て從來のバリカンと其の撰を異にし素より料金普通で顧客の賞讃を博してゐる

平町兵士送別

平町では來る十七日午前十一時より縣社子鍬倉神社で本年度入營送別會を開くと

小名濱港修築 年度割

支出變更發表

小名濱港の明年度修築費は既報の如く十萬圓となつたがこれに伴ふ明年以降の年度支出割は左の如く變更された

五年度	一〇〇、〇〇〇	
六年度	三五〇、〇〇〇	
七年度	三五〇、〇〇〇	
八年度	五〇〇、〇〇〇	
九年度	五〇〇、〇〇〇	
十年度	六〇〇、〇〇〇	
十一年度	六三六、三〇〇	
十二年度	四八〇、〇〇〇	
合計	三五一六、三〇〇	

四倉、久の濱間に 男の轢死体

身元一切不明

（四倉支局電話）久之濱町田網向山附近鐵道線路側一十二日午後四時頃死後三四十時間を經過した胴体部二つの男の轢死体あるを通行人が發見急報に接し四つ倉署より松本署長現場に臨み取調等をなしたが身元、年齢不明で四十七、八才丸顏長高く痩形で長着ゾンまで素足所持品もなく手掛が無いので久之濱役場に引き渡し假埋葬に附したが覺悟の自殺らしく尙ほ引つゞき身元調査中

四倉如來寺 庫裡新築

寄附申込み多し

四つ倉町如來寺の庫裡新築については住職小松學俊師が各方面より多額の寄附申出者あるが双葉郡廣野村出身當時神戸市須磨區山町材木商木曉儀助氏は一日も早く落成を祈らんとて多額の寄附を申出でゝ本年十二日金一千圓を小松氏宛送附して來たと

小錦「實地指導」 仙臺稅務監督局では明年一月十七日より二十六日まで高久村小錦本舖錦木喜太郎氏方の酒造實地指導をなす

巫二校の賊

館林署に捕はる

平町第二小學校舍に去る九日夜何者か忍び入り事務室並に教室を物色し生徒會主催の全國方面委員會にのスカート約十着を物取し出奔の爲め十三日出發したた犯人については平署で捜査中右は田村郡七郷村大字栗出薄木務泉（三一）の所爲と判明各地に手配中昨十二日群馬縣館林署の手に捕はれ十三日平署に紹介があつた

四倉の浪花節

四ツ倉町海盛座に於て明十四日より浪花會の花形〆双、雷太郎、二代目雲工門等一行の公演ある筈で觀覽料日時節柄大人四十錢婦人子供二十錢

四倉花澤師

四ツ倉海獄寺住職花澤賢有師は十四日より三日間東京に於て開催される社會事業協會關東浪曲大幹部第三回巡業御被露

雲井雷太郎師　桃中軒小雲右工門
浪花亭〆奴師　浪花亭　奴師
玉川太郎師　東洋軒雷右工門師
外數名出演

特　前回興行の際御引立を蒙り厚く御禮申上候今回東北巡業歸途近日某館に於開演仕り候間何卒當倍御引立の程伏而御願申上候

の　關東浪曲親睦會事務所

各位御　常磐線平町　親睦會支部

運轉手萬能

一番容易に就業安全

石城郡下の現況

石城郡地方には殊に失業者續出のとき自動車運轉手のみは容易に就業が出來得過もよいと云ふので人力車の梶棒を捨て自動車のハンドルを握らんとする者、田舍から出ては來たが適當な職はないため運轉手にならんとする者、小會社や役所から一生の大事だといひ且目出度だといふので度を越した費用をかけて式を擧げる事は愼まなければなりますまい、ましてや經濟難の時らすれば自動車運轉手は益々就業の安定を得ることなつてゐるが現に本縣のみで本年は既に六百名の運轉手を出し就職に困る者は一人もないといふ好成績、この日本と同じ樣な狀態にありますがこれは好ましい事には考へられません、私の知り合ひの處で御婚禮があつた際の事お客さん方々から御調度拜見を申しこまれてさつぱりと、私宅では何もいたしませぬとお斷りされた事がありました、これは誠にさもあるべきことで兎角お客の方々は花嫁御の御調度には何よりも心ひかれる事ではありますがそれを大びらで拜見したいなどはいふべき事ではありません、例へお客がかやうな心であるために自然兒石をはるやうにもなります

私の結婚回顧

城山　青山吉郎

人生の最大たる結婚には間違つた考へで結婚の第一義が完全な男性と女性殊に就いて近來次第に愼重な考慮が拂はれる樣になつてゐたことは誠に喜ばしい事ですが、又に最も思ひますが、また〳〵最も根本的であるべき方面に案上、當事者相互の人格健康外等閑に付されてゐると點の狀態が先づ第一に論議せら多いのは實に遺憾に堪へないい次第であります、結婚とも云ふことに關しては何と云つても完全な男性と女性との結合と言ふ點が根本的條件でなければなりません、世間には緣談を進める際に當つて先方の家柄や財産などの方面許りを問題とする人が少くありませんが、之亦結婚生活を不幸ならしむるものと云はねばなりません、何れにしても自らの一義が完全な男性と女性殊に完全なる

肉體　の所有者と思ひますが、また〳〵最も根本的であるべき方面に案上、當事者相互の人格健康外等閑に付されてゐると點の狀態が先づ第一に論議せら多いのは實に遺憾に堪へないい次第であります、結婚とも云ふことに關しては何と云つても完全な男性と女性との結合と言ふ點が根本的條件でなければなりません、此處で云ふのは勿論遺傳的血統と云ふのは勿論遺傳的疾患の有無の點でありまして之亦結婚生活を不幸ならしむるものと云はねばなりません、何れにしても自らの一義が完全な男性と女性殊に完全なる

肉體　の所有者と思ひますが、また〳〵最も根本的であるべき方面に案上、當事者相互の人格健康外等閑に付されてゐると點の狀態が先づ第一に論議せら多いのは實に遺憾に堪へないい次第であります、結婚とも云ふことに關しては何と云つても完全な男性と女性との結合と言ふ點が根本的條件でなければなりません、此處で云ふのは勿論遺傳的血統と云ふのは勿論遺傳的疾患の有無の點でありまして之亦結婚生活を不幸ならしむるものと云はねばなりません、

健康

體でないことを自覺して、それを秘して結婚する事の總義に反したものであることは言ふ迄もありませんが、自分が肉體的に缺陷あるを知らずに結婚生活に入るのも亦自らの將來を暗くするとも同時に相手方をも不幸の深淵に突落とす所以でありますから私は結婚に當つては一應醫師の診察を受けると云ふ風習が一般に行はれん事を欲します、尤も外國では支那邊りとは殆んどいつても支那邊りとは殆んどの健康體となつて結婚するときは健康體でなくても結婚するときにすれば手數とか婚姻の遲延と云ふやうなことは問題でなく、長い相互の幸福となるものです、之からの若き醫師の診察の結果不幸にして病毒の存在或は肉體缺陷が見出された場合は速かに適當な治療を受け完全なる健康體となつて結婚するれん事を祈つて呉みません

習慣

として一般に普及せられやう先づ知識階級の方々から率先實行して頂きたいものと希望してゐます

秘密

にしなければならないと云ふやうな場合に於いてゐります、例へしても姙娠する可能性少くは戸籍謄本の交換、同等に否それ以上に重要視される人が少くありませんが、之癩病等の有無をその家系にものですが結婚生活は結核

私の結婚回顧

城山　青山吉郎

人生の最大たる結婚には間違つた考へで結婚の第一義が完全な男性と女性殊に就いて近來次第に愼重な考慮が拂はれる樣になつてゐたことは誠に喜ばしい事ですが、また〳〵最も根本的であるべき方面に案上、當事者相互の人格健康外等閑に付されてゐると點の狀態が先づ第一に論議せら多いのは實に遺憾に堪へないい次第であります、結婚とも云ふことに關しては何と云つても完全な男性と女性との結合と言ふ點が根本的條件でなければなりません、此處で云ふのは勿論遺傳的血統と云ふのは勿論遺傳的疾患の有無の點でありまして之亦結婚生活を不幸ならしむるものと云はねばなりません、

健康

體でないことを自覺して、それを秘して結婚する事の總義に反したものであることは言ふ迄もありませんが、自分が肉體的に缺陷あるを知らずに結婚生活に入るのも亦自らの將來を暗くするとも同時に相手方をも不幸の深淵に突落とす所以でありますから私は結婚に當つては一應醫師の診察を受けると云ふ風習が一般に行はれん事を欲します、尤も外國では支那邊りとは殆んどの健康體となつて結婚するときは健康體でなくても結婚するときにすれば手數とか婚姻の遲延と云ふやうなことは問題でなく、長い相互の幸福となるものです、之からの若き醫師の診察の結果不幸にして病毒の存在或は肉體缺陷が見出された場合は速かに適當な治療を受け完全なる健康體となつて結婚するれん事を祈つて呉みません

習慣

として一般に普及せられやう先づ知識階級の方々から率先實行して頂きたいものと希望してゐます

秘密

にしなければならないと云ふやうな場合に於いてゐります、例へしても姙娠する可能性少くは戸籍謄本の交換、同等に否それ以上に重要視される人が少くありませんが、之癩病等の有無をその家系にものですが結婚生活は結核

財團法人帝國教育會臨時特別出張主催

トーキー◆發聲映畫大會

十四日ヨリ二日間本、金曜臨時公開

（トーキー映畫）

松竹作品　至誠愛國の魂
大史劇　大楠公　全
井上正夫　水谷八重子……主演

帝國教育會作品
訊刺　お父さん
皆樣……た父さんや、お母さんが皆樣の時にどんなに心を痛められて居られるでせう？

川上兒童樂劇團總出演
童話劇　蛙（カヘル）
川上樂劇部長川上貞　總指揮

會津名物盆躍り

悲劇　紛阿寺　全
監督　池田義信　脚色　小田喬
岩田祐吉　藤田正一
栗島すみ子　小林みち子　主演

奉仕的　料金　大人20　小人10　本舘

流行の最先端!!
本年流行の
婦人シヨール
可愛らしい
子供服
平四　リルヤ
電一四〇

◆内科　◆外科　◆花柳病科
入院隨意　自炊の便あり
平町田町大通り
安齋外科醫院
電話四三六番

◆臟外科一般
◆花柳病科
入院應需
藤沼醫院
平町　電話四五〇番